「もしも」に備える

その行動が命を守る

毎年のように記録的な豪雨や台風などによる災害が全国で多発しています。自分や大切な人の命を守るため、普段から「もしも」に備えましょう。

●安全対策課

「もしも」に備える❶ 避難行動を確認する

自分の命は自分で守る意識を持ち、ハザードマップで自宅を確認し、その場所が危険かどうか、避難が必要かどうか、災害時に行動できるように確認しておきましょう。
※ハザードマップは防災マップで確認できます。

▲防災マップ

▲指定避難所（VACANマップ）

避難行動判断フロー

家がある場所に色が塗られていますか

はい

【災害の危険あり】原則※自宅の外に避難

※浸水の危険があっても、次のような場合は自宅に留まり安全確保することも可能です。
①洪水で家屋が倒壊・崩落する恐れが高い区域の外側
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食料などの備えが十分にある

いいえ

必要に応じて避難を

周りと比べて低い土地や崖のそばに住んでいる人は、市からの避難情報を参考に、必要なときは避難

ご自身または一緒に避難する人は避難に時間がかかりますか

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚・知人はいますか

はい

警戒レベル❸が出たら

安全な場所に住む親戚・知人宅に避難

いいえ

警戒レベル❸が出たら

市の指定避難所に避難

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚・知人はいますか

はい

警戒レベル❹が出たら

安全な場所に住む親戚・知人宅に避難

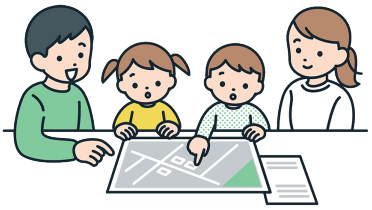
いいえ

警戒レベル❹が出たら

市の指定避難所に避難

マイ・タイムラインを作成しよう｜自分の避難行動計画

マイ・タイムラインとは、自分や家族を守るために、どのタイミングでどのような行動をとるべきか決めておくものです。防災マップやアプリなどを活用し、もしものときに備え、家族や友人と話し合っておきましょう。



▲マイ・タイムライン（国土交通省ホームページ）

「もしも」に備える❷　備蓄品・非常持出品の準備

食料・飲料水の備蓄は最低でも3日分

災害発生後72時間は人命救助活動が最優先となり、物資が行き届かないことがあります。最低でも3日分の食料や水を備蓄しておきましょう。

- **非常食**…そのまま、または簡単な調理で食べられるもの（缶詰・レトルト食品など）
- **水**…飲料水は1人1日3リットルが目安
- **工具類**（スコップ・ロープなど）
- **生活用品**（カセットコンロ・ガスボンベ・衣類・毛布・トイレットペーパー・ドライシャンプーなど）

ローリングストックを始めよう

普段食べている食品を多めに買い置きし、賞味期限が古いものから消費して、その分を買い足し補充する備蓄方法です。

非常持出品リスト

必要最小限にまとめ、すぐ取り出せるところに保管しておきましょう。定期的に、食品の賞味期限や電化製品の故障がないかのチェックも忘れずに行いましょう。

- ☐ **ヘルメット・防災ずきん**
- ☐ **貴重品**
- ☐ **懐中電灯・電池**
- ☐ **リュックサックなど**
- ☐ **非常食**
- ☐ **ラジオ**
- ☐ **救急医薬品・常備薬**
- ☐ **水**
- ☐ **生活用品**
  衣類・軍手・ナイフ・ライター・タオルなど
- ☐ **その他**
  マスク・消毒液・体温計など

家族構成に合わせて準備を

備蓄品や非常持出品は、アレルギー対応の非常食やペットフードなど、家族構成に合わせて必要なものを考えましょう。

「もしも」に備える❸　適切な情報収集

災害時に必要な情報の入手経路を、前もって把握しておきましょう。

防災ラジオ

災害などの緊急情報を市民の皆さんへお伝えするため、防災ラジオを無償で貸し出しています。放送内容を聞き逃したときは、「聞き直しボタン」で1つ前の放送を聞き直せます。

申請先／安全対策課（市役所2階）

緊急地震速報の訓練放送

Jアラート（全国瞬時警報システム）を使用し、防災ラジオと屋外スピーカーで訓練放送が流れます。

日時／6月18日㈬ 10時ごろ

防災情報メールマガジン／市公式SNS

気象情報や避難所開設などの情報を発信しています。防災情報メールマガジンは英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語にも対応。

市ポータルアプリ「おむすび。」

指定避難所や河川水位情報がマップ上で確認できるほか、防災情報メールマガジンの内容や避難判断水位以上になったときにプッシュ通知でお知らせ。

※プッシュ通知を有効にするためには、端末の通知設定を「オン」にしてください。

水防団待機水位
氾濫注意水位
避難判断水位
氾濫危険水位
プッシュ通知

VACANマップ

指定避難所の開設状況や混雑状況をリアルタイムで確認できます。

県河川砂防情報システム

河川水位や監視カメラを通した現在の河川状況を確認できます。

公衆電話（NTT西日本）

災害時は携帯電話がつながりにくくなります。公衆電話の設置場所を把握しておきましょう。

おおむらケーブルテレビアプリ

市の防災ラジオの放送を20件さかのぼって確認できます。

気象庁防災情報

注意報・警報・台風情報などを確認できます。

停電情報（九州電力）

九州エリアの停電・復旧見込み情報を確認できます。

表紙のはなし

まるごとまちごとハザードマップ｜日頃から意識を

洪水災害が発生したときに想定される地面から水面までの高さの標識を、郡川・大上戸川・内田川周辺の電柱など市内73カ所に設置しています。

▶一部地区では、令和2年7月豪雨の際に実際に浸水した高さを示した標識を設置（右）。

「もしも」に備える❹

地域を守る活動

自主防災組織に参加しよう

災害などが発生したとき、被害を最小限に食い止めるには、地域住民による組織的な防災活動が必要です。「自主防災組織」は、地域防災活動の拠点として、住民同士が協力し、自発的に結成される組織です。阪神・淡路大震災では、地域住民による救出・救助活動により約98％の人が救助されたといわれており、復興にも大きな力を発揮。それ以降、全国各地で自主防災組織が結成されました。

初期消火訓練

救急救命訓練

煙体験訓練

地震体験訓練

町内防災マップ作成

自主防災組織への補助金・交付金

市では、自主防災組織が未結成の地域での結成時や、防災訓練などの活動費を補助しています。「災害に強いまち」を目指し、日頃から訓練を行い、地域ぐるみで防災意識を高めましょう。

▼結成補助金
4万円
▼活動交付金
20人未満
…3万円
20人～49人
…4万円
50人以上
…5万円

消防団の活動にご協力を

大村市消防団では、火災や風水害の発生に備え、年間を通じてさまざまな訓練を行っています。皆さんのご理解・ご協力をよろしくお願いします。

「もしも」に備える 番外編

国民保護ポータルサイト

サイトでは、武力攻撃や大規模テロなどから国民を保護するための情報をお知らせしています。

▼国民保護の対象となる事態
①武力攻撃事態（着上陸侵攻・ゲリラや特殊部隊による攻撃・弾道ミサイル攻撃・航空攻撃）
②緊急対処事態（貯蔵施設などの爆破・化学剤の大量散布など）

▲国民保護法における指定避難施設（大村市）